

血液浄化部

1. スタッフ

部長（兼）教授 猪阪 善隆

その他、准教授 1 名、講師 1 名、助教 1 名、医員 10 名（兼任を含む。）

2. 診療内容

腎臓内科に入院された腎機能低下および末期腎不全の患者を対象としたすみやかな透析療法の導入、外部医療機関から外科手術あるいは本院での治療を目的に転入する透析患者を対象とした透析療法の施行が通常の診療業務である。当部では透析療法として血液透析と共に、腹膜透析（CAPD）も積極的に導入している。病床数が限られているため、外来患者を対象とした通院透析は行っていない。

それ以外に、自己免疫疾患に対する血漿交換療法、肝不全に対する血漿交換療法、血液型不適合例における腎移植前の血漿交換療法、炎症性腸疾患における白血球除去療法、家族性高脂血症・難治性ネフローゼに対する LDL アフェレーシスなど、難治性疾患の特殊治療および先進医療のサポートを行っている。

3. 診療体制

(1) 当部運用スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	14床	14床	14床	14床	14床	-
午後	14床	-	14床	-	14床	-

血液透析は月曜日から金曜日の午前 9 時 15 分開場で、一日 1~2 クールの運用を原則としている。平成 28 年よりベッド数は 8 床から 14 床に増床され、うち 10 床はセントラル透析液供給システム、4 床は個人用透析装置での運用となっている。また、今年度より On-line HDF が本格稼働している。透析液カルシウム濃度は、2.75 mEq/L と 3.0 mEq/L を使用している。院内外発生の急性腎不全や慢性腎臓病急性増悪に対応するために、緊急透析も必要に応じて施行する。重症のケースでは、集中治療部や高度救命救急センターとの連携を保ち診療を行うと同時に、必要に応じて、一般病棟での血液浄化療法を施行する。

(2) CAPD 外来スケジュール

	月	火	水	木	金
午前		CAPD 外来		CAPD 外来	
午後		CAPD 外来		CAPD 外来	

CAPD の患者を対象に内科西外来で、通院診療を行っている。外来は基本的に火曜日及び木曜日の午前、午後で、その他の曜日でも電話相談を受け付けている。また、適時、保存期教育・腎代替療法選択外来も行っている。

(3) その他のスケジュール

	月	火	水	木	金
午前					
午後		機器メン テナンス		機器メン テナンス 症例 検討会	

4. 診療実績

実績は次頁のとおりである。院内血液浄化療法施行総件数は年間 5,000 件を超えている。平成 29 年度の新規血液透析導入は 70 例、新規 CAPD 導入は 7 例である。院内各診療科と幅広く協力しており、例えば血液透析・血漿交換療法を必要とした患者の診療科は、腎臓内科の他、心臓血管外科、泌尿器科、消化器外科、神経内科・脳卒中科、眼科、循環器内科、消化器内科、内分泌・代謝内科などと多岐にわたる。

5. その他

日本透析医学会認定教育施設である。腎臓内科を含めて、専門医の内訳は、内科認定医 32 名、内科専門医 14 名、腎臓専門医 18 名、腎臓指導医 3 名、透析専門医 14 名、透析指導医 3 名、腎移植認定医 2 名である。より良い血液浄化療法を目指すことを目的として、医師・看護師・臨床工学技士によるワーキンググループで、月 1 回の報告連絡会を開催している。

表1 近年の血液浄化療法施行件数

年 度	総 件 数
平成 17 年度	2,835 件
平成 18 年度	2,132 件
平成 19 年度	2,823 件
平成 20 年度	2,647 件
平成 21 年度	2,849 件
平成 22 年度	3,684 件
平成 23 年度	3,513 件
平成 24 年度	4,073 件
平成 25 年度	3,713 件
平成 26 年度	3,226 件
平成 27 年度	3,968 件
平成 28 年度	4,582 件
平成 29 年度	5,360 件

表2 平成 29 年度 血液浄化療法施行の内訳

総 件 数 : 5360 件	
血液浄化療法別の施行件数 (連続治療は 24 時間を 1 件)	
血液透析 (HD)	2237 件
血液透析濾過 (HDF)	2 件
On-line HDF (OHDF)	366 件
持続型血液透析濾過 (CHDF)	1784 件
腹膜透析	693 件
血漿交換 (うち DFPP)	253 (29) 件
血球成分 (白血球) 除去療法	25 件

*水質確保加算 2 : 2605 件

表3 平成 29 年度 透析導入患者数

血液透析	70 人
腹膜透析	9 人

表4 平成 29 年度 腹膜透析患者数と外来件数

外来患者数(平成 30 年 3 月時点)	35 人
総外来件数	343 件

*外来患者数は他院との併診患者 8 名を含む。

表5 平成 29 年度 血液透析患者の診療科別内訳

腎臓内科	722 件
消化器外科	194 件
泌尿器科	286 件
心臓血管外科	633 件
循環器内科	156 件
消化器内科	127 件
内分泌・代謝内科	43 件
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	17 件
乳腺・内分泌外科	7 件
眼科	49 件
免疫・アレルギー内科	16 件
その他の診療科	353 件

*その他の診療科：血液・腫瘍内科、整形外科、脳神経外科、小児科、小児外科、呼吸器内科、高度救命救急センター、産科・婦人科、老年・高血圧内科、形成外科、神経脳卒中科

表6 平成 29 年度 アフェレーシスの診療科別件数内訳

腎臓内科	8 件
神経内科・脳卒中科	106 件
泌尿器科	63 件
消化器内科	25 件
消化器外科	12 件
免疫・アレルギー内科	2 件
その他の診療科	25 件